

無線ネットワークを使った遠隔操縦時の課題

無線通信の特性上、遅延・ロスを完全に保証することはできない

- 原因：電波減衰、電波干渉、シャドーイング

通信に遅延・ロスが発生すると、遠隔操作の安全性と効率が低下

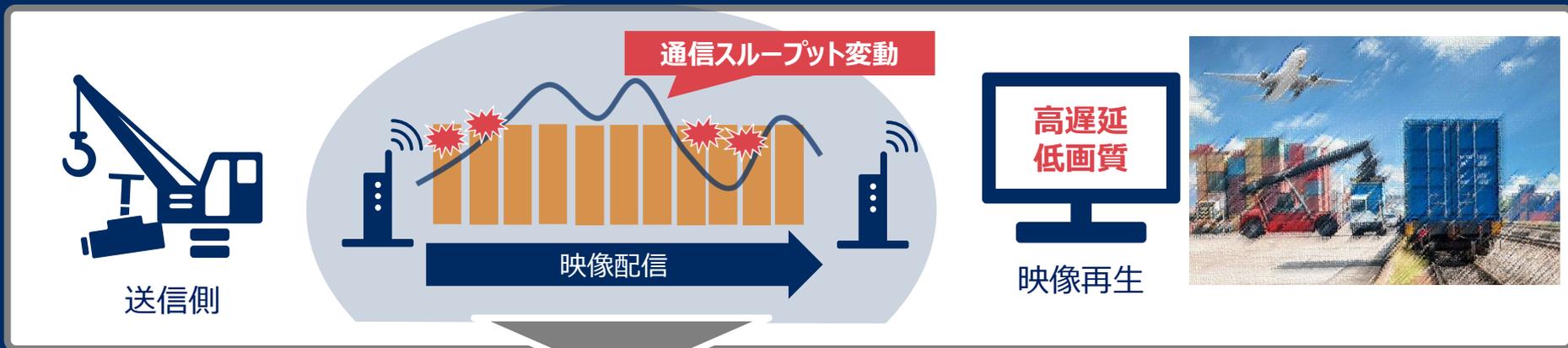
- 映像配信：映像品質が低下して現場の状況把握ができない
- 操作コマンド：コマンドの遅延・不達によってクレーンの位置決めが困難



NEC独自の通信技術である**適応映像配信制御技術**、及び**適応遠隔制御技術**により
遠隔操作時の課題を解決

適応映像配信制御技術

通信スループットが安定しない無線通信環境でも、低遅延かつ高画質な映像配信を実現



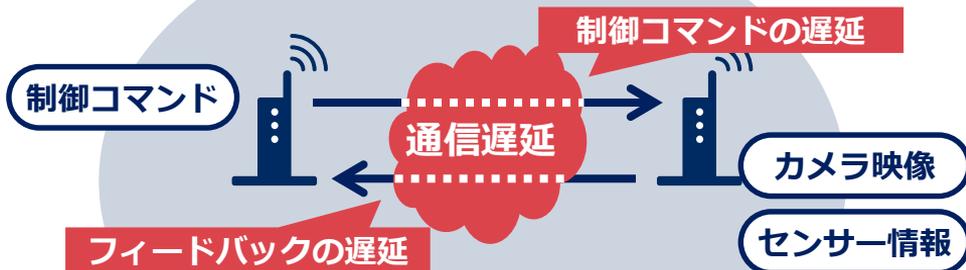
適応遠隔制御技術

通信遅延が避けられない無線通信環境でも遠隔制御の安定性と操作性を改善する

従来の遠隔制御



制御サーバ



運搬対象物の位置をオーバー



適応遠隔制御技術

遅延予測 & 予測制御

遅延があっても確実に制御



制御サーバ

